

新任職員採用時研修のご案内

10月1日より本格義務化

【動画】やさしい施設の事故防止対策

配信期間12カ月だからいつ採用しても研修ができる
 研修講師用マニュアル付きだから誰でも講師ができる
 確認テスト付き（解答・解説）だから理解度を確認できる
 新任職員が理解しやすい「字幕付」も選べます

リスクマネジメント
 情報室会員には
 7月1日より3ヶ月間
 お試し無料配信

今すぐ抜粋版をご視聴下さい！（抜粋版8分・本編27分）

●PC版 → <https://youtu.be/6KiCAejVU0>

●スマホ版 →



動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護施設・事業者（法人）
- 視聴期間：12ヶ月
- 提供資料：研修テキスト（手持ち資料）
 研修講師用マニュアル
 理解度確認テスト（解答・解説付）
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：44,000円（税込）

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
 申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
 URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

新任職員向け事故防止対策研修（2021年度版）の概要

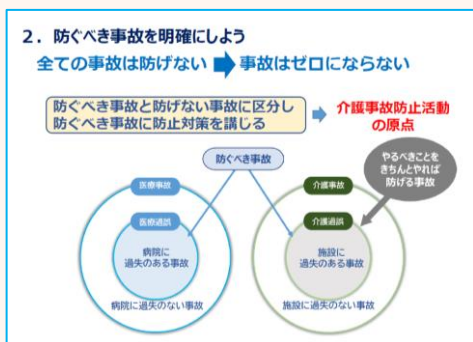
《1》事故防止活動の基礎知識

1. 新しい事故防止活動に切り替えよう
2. 防ぐべき事故を明確にしよう
3. 事故を正しく評価しよう

《2》事故防止活動の進め方

1. 事故防止の基本活動
2. 効果のあがるヒヤリハット活動

《3》事故発生時の対応



職員向け事故防止対策研修
 理解度確認テスト

動画正しければ○、間違っていれば×を回答欄に記入して下さい。

設問	回答欄
1 人のミスなので、人がミスをしないように管理することが事故防止で最も重要である。	
2 事故は職員のミスが原因なので、十分注意して介護をする。	
3 活動はミスを見える仕組みづくりが重要である。	
4 事故ゼロを目指すことが、責務である。	
5 ことをきちんとやれば、防げる事故もある。	
6 事故をいかに防げるか？という事を中心に防止対策を講じる	
7 事故は損害の大きさや頻度で判断せずに、質で判断する。	
8 事故については、リスクについてきちんと説明し、ケアの内容や対応について話さない方がよい。	
9 基本活動をやるヒヤリハット活動は効果がない。	
10 活動として、安全ルールをつくり、そのルールを守らせることが大切である。	
11 としても、職員個人で賠償金を支払うような事にはならない。	
12 活動とはヒヤリしたり、ハットしたり、事故直前の体験を共有する活動である。	
13 ってきた介助方法、特にベテランの介助方法は正しいので事故が起きにくい。	
14 利用者の個別リスクは一定ではないため、変化が現れた時にヒヤリハットすべきである。	
15 トシートを書けば書くほど事故は減る	
16 小事例は原因分析をして対応策を講じる	
17 方法は①利用者側の原因②介護職側の原因③介助環境の原因、の3つに分類的である。	
18 事故原因は直接的な原因の背後に、目に見えない本因の原因が隠れている。	
19 事故防止対策は見守り強化が一番効果が高い。	
20 防止対策の立て方は、直前で事故を防ぐ対策を重点的に講じる。	

理解度確認テスト

お申し込みは弊社ホームページから

<http://www.anzen-kaigo.com/index34.html>

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275